

DNP

株主通信

DNP Report Vol.99

(証券コード：7912)

[特集] 高度な情報セキュリティ基盤に支えられたDNPのBPO



“新しい価値”を創出することで、 持続的な成長を図っていきます。

トップメッセージ

「P&Iイノベーション」で変革に挑戦

株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで1年を切りました。訪日外国人の拡大も見込んで、キャッシュレス決済の動きが加速しているほか、生活者の属性に合わせたデジタルマーケティングの動きなども活発になっています。

また、政府主導によって「働き方改革」の取り組みも進

み、AI（人工知能）などの先端技術を活かした業務改善の事例が増えるとともに、より安全で環境負荷の少ない次世代のクルマ社会に向けた動きも活発化してきました。こうした事業環境に対してDNPは、モノづくりの強みに加え、業界に先駆けて1970年代前半から培ってきたデジタル化の強みを掛け合わせて、ビジネスチャンスを拓いています。

他社にはない「P&I（印刷と情報）」の強みを活かし、「オールDNP」で総合力を発揮することに加え、これも大きな強みである多くのパートナーとの連携を深め、「変革への挑戦」を続けています。「P&Iイノベーション」という事業ビジョンのもと、成長領域として「知とコミュ

■DNPの「4つの成長領域」

 4 質の高い教育を みんなに	 知とコミュニケーション 世界の人々が安全・安心にコミュニケーションの 機会を拡大し、知を継承・発展できる未来	 7 持続可能な エネルギー
 8 働きがいも 経済成長も	 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	 11 持続可能な 都市づくり
 2 飢餓を ゼロに	 10 人や国の不平等を なくそう	 13 気候変動に 具体的な対策を
 3 すべての人に 健康と福祉を	 食とヘルスケア 世界の人々の生命への不安が解消され、生涯にわたって、 安全・安心で質の高い生活を全うできる未来	 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
	 住まいとモビリティ 世界の人々が暮らし、移動するあらゆる生活空間が 快適で安全・安心に保たれている未来	 15 陸の豊かさを 保たろう
	 12 つぶやみを なくそう	 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
	 環境とエネルギー 地球環境への負荷を減らし、 世界の人々と地球が共生できる持続可能な未来	



代表取締役社長 北島 義斉よしなり

ニケーション]「食とヘルスケア」[住まいとモビリティ]「環境とエネルギー」を掲げ、社会課題を解決するとともに、人々の期待に応える新しい価値の創出に注力して、中長期にわたる企業価値の拡大に挑戦していきます。

強い事業ポートフォリオの構築へ

当第1四半期(2019年4-6月)も、写真プリント用熱転写記録材やリチウムイオン電池用バッテリーパウチ、ディスプレイ用光学フィルムや有機ELディスプレイ製造用部材など、国内外で高い競争力を持つ製品・サービスが業績を牽引しました。

好調だったエレクトロニクス部門や、エネルギー関連の高機能マテリアル事業に加え、情報コミュニケーション部門では、キャッシュレス化の進展にともなうICカード関連の事業が拡大しました。また「働き方改革」にも対応し、企業等が業務プロセスを外部に委託するBPO関連の事業^{*1}が拡大しました。

DNPは情報セキュリティや情報処理の「I」の強みと、モノづくりの「P」の強みを活かして、1980年代からBPO事業に取り組み、多くの企業や団体等の課題解決に努めてきました。現在は、国内外16カ所のBPO拠点をネットワークで結び、災害時のBCP(事業継続計画)にも対応可能な、強固な情報セキュリティ基盤として活用しています。また、AIやRPA^{*2}などの先端技術を活用し、クライアントの業務プロセスを改善

していきます。

出版メディア関連でも、出版業界のサプライチェーン全般に関わる唯一の企業グループとしての強みを活かし、多様なBPO事業を展開しています。引き続き、企画から制作・製造、プロモーション企画や流通・販売、顧客対応まで、出版業界の課題解決に向けた多様な取り組みを推進していきます。

当期は、重点事業の拡大に努めるとともに、事業の選択と集中を進め、より強い事業ポートフォリオの構築による競争力強化に取り組みました。こうした活動の成果として、情報コミュニケーション、生活・産業、エレクトロニクスの3部門ともに増益を達成することができました。連結の実績では、売上高は前年同期比0.5%増の3,445億円、営業利益は15.6%増の138億円、経常利益は12.1%増の170億円、純利益は77.7%増の180億円となりました。

DNPは引き続き、株主の皆様をはじめ、多くのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深め、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

*1 DNPのBPO事業については「特集」(P4-5)をご参照ください。

*2 RPA(Robotic Process Automation):AIを活用したロボット(ソフトウェア)による業務自動化の取り組み。

[特集]

高度な情報セキュリティ基盤 に支えられたDNPのBPO

企業や団体等が自らの業務プロセスを外部に委託し、業務改善を図って価値の創出につなげていくBPO(Business Process Outsourcing)。DNPは、働き方改革と業務改革を先端技術でサポートし、顧客企業や団体等の課題解決を支援します。



DNPの事業化テーマとターゲット市場

3.3兆円

▶ 働き方改革関連事業

個人の強みを最大化し、相乗効果を高める働き方
*2022年の国内の働き方改革ICT市場(IDC Japan)

1.3兆円

▶ 情報セキュリティ関連事業

サイバーセキュリティに守られた情報プラットフォーム
*2023年度の国内情報セキュリティ市場規模予測(IDC Japan)

先端技術を活用し顧客のビジネス課題を解決

DNPは、金融業界をはじめ、製造や流通、教育、電力・ガス等の社会インフラなど、各業界における各種受付や審査等のバックオフィス業務から、コールセンター等の生活者対応のフロントオフィス業務まで、高度な情報セキュリティの強みを活かして幅広いBPO事業を展開しています。顧客の業務課題を分析し、その解決に向けたコンサルティングを行うとともに、AIやRPAなどの先端技術も活用して、効果的な業務プロセスの構築・運用につなげて、顧客の価値創出の取り組みを支えています。

国内の大きな社会課題である生産人口の減少に対しても、DNPは、業務プロセス全体をカバーするBPOの総合的なサービスを通じて、社員等が本来の主要な業務に集中できるようにするなど、働き方改革に寄与していきます。

DNPのBPO

ビジネス・プロセス・アウトソーシング

信頼性

- 国内外16拠点、24時間の稼働体制
- 約2,500社からの受託実績
- 高度な情報セキュリティシステム

高品質

- 約300人のプロによる業務設計
- AIやRPAなどの先端技術の導入

対応力

- 業務内容に応じた柔軟な対応
- 災害時のBCP対応



パートナー

デジタルネットワークにより品質や生産性の向上、BCP対応を実現

DNPは、国内外BPO拠点をネットワークで結び、相互補完することで、災害時のBCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)に対応するとともに、業務分散を可能とするデジタルワークフローを構築しています。

例えば、大規模な申込受付業務では、紙の申込書のスキャンデータをサーバーで管理・共有し、複数拠点に作業を分散させて業務の偏りを解消するとともに、人的資源を柔軟に活用しています。2018年1月にはAI inside株式会社と資本業務提携を行い、AIを活用したOCR(光学的文字認識)技術によるデータ入力を可能として、手書き文字の読み取り精度の向上を図っています。また、書類の仕分けや審査を24時間実施できる体制の構築や、年間の繁忙差がある業務への対応など、生産性の向上に努めています。

2019年もDNPは、5月に東京都墨田区に10月に福岡県北九州市にBPO拠点を新設し、国内外16拠点に運用体制を広げ、より幅広い業務分野でBPOサービスを提供していきます。

国内外のBPOセンターなどを結ぶ事業ネットワーク



神谷SC



奈良工場



ネットワーク

- 札幌SC
- 仙台SC
- 蕨工場
- 高島平SC
- 高田SC
- 榎町SC
- すみだSC
- 名古屋SC
- なんばSC
- 高槻SC
- 福岡SC
- 黒崎SC
- 宜野湾SC
- ハノイ(ベトナム)

※SC=ソリューション・センター

事故受付～示談交渉等の生活者の負担を軽減する、革新的かつ高品質な事故対応サービスの取り組み

2019年8月9日発表

【業界初】

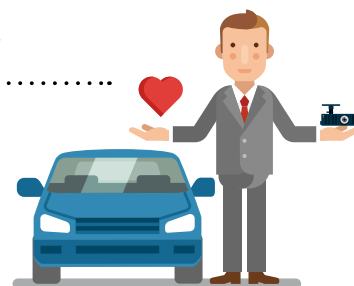
「テレマティクス損害サービスシステム」の提供を開始

MS & AD インシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、テレマティクス^{※1}自動車保険のパイオニアとして、最先端のテレマティクス技術を活用した新しい事故対応サービス「テレマティクス損害サービスシステム」を、DNP、株式会社インテリジェント ウェイブ (IWI)、株式会社野村総合研究所、SCSK 株式会社、富士通株式会社、日本アイ・ビー・エム 株式会社、SBI FinTech Incubation 株式会社と共同で開発しました。

各社の最新技術とテレマティクス情報を複合させて、事故対応で実用化する取り組みは業界初^{※2}であり、走行データや運転時の挙動、位置情報を中心としたデジタルデータを活用することで、高品質な事故対応サービスを生活者に提供していきます。

※1 テレマティクスは、「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して、さまざまな情報やサービスを提供する仕組み

※2 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社調べ



過失割合の判定サポート

■高精度文書検索機能による判例検索



DNPとグループ会社のIWIは、高精度文書検索システム「OpAI^{*}」のデータ分析技術を活用し、ドライブレコーダーや車両から得られるデジタルデータから再現した事故原因や事故発生時の状況をもとに、過去の交通事故の判例を自動的に表示し、過失割合の判定をサポートするシステムを開発しました。これにより、判例の検索～表示時間を短縮し、基本過失や修正要素を加味した過失割合の判定をサポートすることで、事故に関わる生活者の保険請求手続き等の負担を軽減し、迅速かつより適切な過失・示談交渉等につなげていきます。

* OpAI(オーピーイーアイ)は、口語や話し言葉といった自然言語を適切に処理するための、AI技術を活用したIWI独自のソフトウェアです。

ピックアップニュース

出版社の課題を解決する付加価値サービスを提供

2019年7月10日発表

AIで雑誌のレイアウトを自動生成する技術を共同開発

DNPは、建築関係の雑誌や専門書を手がける株式会社エー・アンド・ユーおよび株式会社新建築社と共同で、雑誌の原稿となる画像とテキストを入力すると、その内容や雑誌のイメージにあった誌面レイアウトを、AIを活用して自動生成する技術を開発しました。

3社は、本技術を雑誌「a+u」の編集に本格的に活用し、誌面レイアウト自動生成システムの実用化を図ります。この技術によって、編集者が毎回レイアウトを一から検討して制作する必要がなくなり、業務効率の向上につながります。DNPは、雑誌・書籍に限らず、パンフレットやカタログ、広告などへの利用も想定し、AIを活用した出版・編集支援サービスの構築をめざします。



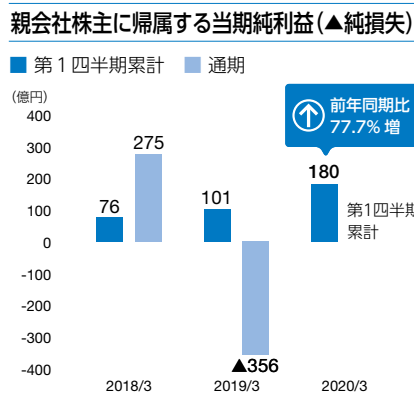
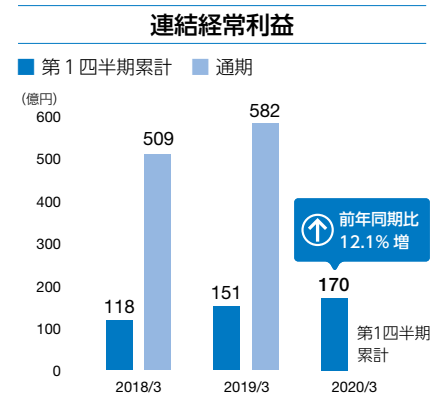
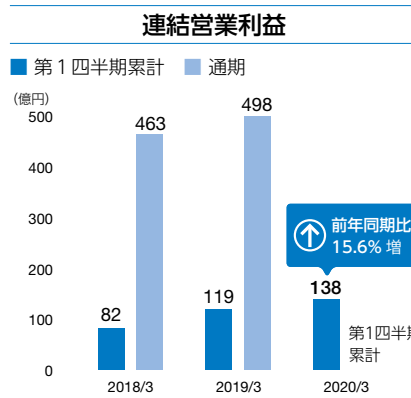
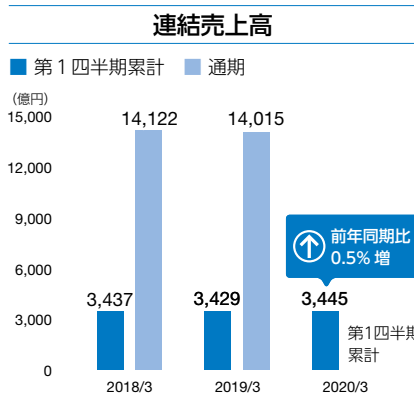
本技術を、雑誌「a+u」(エー・アンド・ユー、Architecture and Urbanism、建築と都市)(株式会社エー・アンド・ユー発行)8月号のレイアウト制作の一部に活用しました。入力した画像・テキストから複数のデザインパターンを自動生成します。編集者は、提示されたレイアウトをもとにブラッシュアップをしていきます。

第1四半期決算のご報告 (2019年4月1日から2019年6月30日)

科目	当第1四半期	前第1四半期
売上高	3,445	3,429
営業利益	138	119
経常利益	170	151
親会社株主に帰属する 四半期純利益	180	101

科目	2020年3月期通期
売上高	14,160
営業利益	510
経常利益	585
親会社株主に帰属する 当期純利益	510

1株当たり当期純利益168円98銭



連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科目	当第1四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産	17,830	17,750
流動資産	7,972	7,992
固定資産	9,857	9,757
負債	7,155	7,284
流動負債	4,536	4,676
固定負債	2,619	2,607
純資産	10,674	10,466



情報コミュニケーション部門

売上高 **1,906億円**
前年同期比 **0.7%増**
営業利益 **68億円**
前年同期比 **12.2%増**

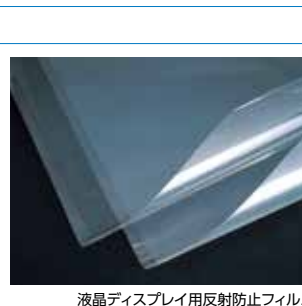
出版流通関連が減少しましたが、ICカードやBPOなどの重点事業が順調に拡大し、増収・増益となりました。



生活・産業部門

売上高 **951億円**
前年同期比 **1.3%増**
営業利益 **18億円**
前年同期比 **35.8%増**

フィルムパッケージや車載用のリチウムイオン電池用バッテリーパウチ等が増加し、増収・増益となりました。



エレクトロニクス部門

売上高 **480億円**
前年同期比 **2.5%減**
営業利益 **104億円**
前年同期比 **6.2%増**

有機ELディスプレイ関連製品が増加した一方、液晶テレビ向け関連製品が減少し、減収・増益となりました。



清涼飲料部門

売上高 **117億円**
前年同期比 **0.5%減**
営業利益 **0億円**
前年同期比 **94.7%減**

「コカ・コーラ」や無糖茶飲料の販売数量は増加したものの、価格競争の激化などにより、減収・減益となりました。

ピックアップニュース

2019年7月22日発表

19年連続で、世界的に権威のある社会的責任投資指標の構成銘柄に選定

DNPは、19年連続で、世界的に権威のある社会的責任投資(Socially Responsible Investment: SRI)の指標である「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄に選ばれました。SRIは、財務分析に加え、企業の社会的責任(CSR)に関する取り組みを評価の基準に組み込んだ投資手法として注目されています。

DNPは、そのほか「MSCI ESG Leaders Indexes」(アメリカ)、「ETHIBEL Investment Register」(ベルギー)、「モーニングスター社会的責任投資株価指数」(日本)にも選定されるなど、社会課題を解決し、人々の期待に応える新しい価値の提供に取り組む、持続可能な発展につながる事業を展開する企業として、国内外から高い評価を受けています。



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan

2019年8月9日発表

「DNPグループ統合報告書2019」を発行しました

DNPは、2019年3月期の企業活動等について、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にお伝えする「DNPグループ統合報告書2019」を発行しました。

本誌は、財務情報に加え、ESG(環境・社会・ガバナンス)を含めたDNPの事業活動全体について、多面的かつ統合的に編集した年次報告書です。本誌のほか、DNPのウェブサイトや有価証券報告書、株主通信、CSR報告書、環境報告書等の発行物や、さまざまな対話の機会を通じて説明責任を果たし、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めていきます。

DNPのウェブサイトでご覧いただけます。

©日本語版 URL

<https://www.dnp.co.jp/ir/library/annual/index.html>



「DNPenguin 卓上カレンダー」プレゼント

2020年版「DNPenguin 卓上カレンダー」を株主の皆様へプレゼントいたします。DNPenguinは、広告をはじめ、ウェブサイトや展示会などでDNPの製品やサービスをわかりやすく紹介するオリジナルキャラクターです。

プレゼントご希望の方は、同封のハガキに、お名前、電話番号、ご住所、株主番号(同封の「送付票」右下に記載されている9桁の番号)を全てご記入いただき、同封の保護シールを貼付のうえ、ご返送ください。

※お送りするカレンダーは、お一人様1部、日本国内の発送に限らせていただきます。 ※株主様ご本人のお名前でお申込みください。 ※株主登録のないお名前でお申込みされた場合および記入項目に不備や空欄がある場合は、お届けできないことがあります。 ※発送は2019年12月頃を予定しています。

お申込み締切 2019年10月31日(木) 当日消印有効 ※締切日にご注意ください。

お問い合わせ 「DNPenguin 卓上カレンダー」プレゼント事務局
電話:0120-300-054(フリーダイヤル)

お問い合わせ受付期間:2019年10月7日~2020年1月31日(土・日・祝日除く10:00~17:00受付)
※2019年12月28日~2020年1月5日は年末年始休暇のため、お問い合わせ受付はお休みとさせていただきます。

〈お申込み情報の取扱いについて〉

ハガキにご記入いただきました情報は、「DNPenguin 卓上カレンダー」のお届けに利用するとともに、2020年6月以降の株主総会に関するお電話のご案内に利用させていただくことがあります。なお、この目的の実施のためにDNPのグループ会社に業務を委託する以外には、第三者へのお申込み情報の提供は行いません。DNPの「個人情報保護方針」につきましては、DNPのウェブサイトをご覧ください。

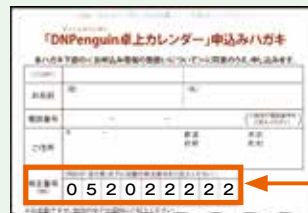
大日本印刷株式会社個人情報保護方針 URL <https://www.dnp.co.jp/privacy/>
大日本印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション本部 IR室
個人情報取扱責任者 コーポレートコミュニケーション本部 IR室長



縦 約14cm×横 約19cm
紙製カレンダー

デザインは変更になる場合があります。ご了承ください。

同封のハガキ



株主番号をご記入ください



送付票右下

□ DNPのウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、最新ニュースやIR情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しています。



(トップページ)



(IR情報トップページ)

● DNPのウェブサイトURL

トップページ→ <https://www.dnp.co.jp/>

株主通信「DNP Report」はこちら→ <https://www.dnp.co.jp/ir/library/dnp-report/>

会社情報

商号	大日本印刷株式会社 (Dai Nippon Printing Co., Ltd.)
本社所在地	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
ウェブサイト	https://www.dnp.co.jp/
創業	1876年(明治9年)10月9日
設立年月日	1894年(明治27年)1月19日
資本金	1,144億6,476万円
発行済株式総数	324,240,346株(自己株式22,409,627株を含む)
株主数	27,126名(2019年3月31日現在)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 (当社のウェブサイト https://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式 株主様が口座を開設されている証券会社の本店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
※ご転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申し上げます。

※単元未満株式に関するお知らせ

100株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(100株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)



TOKYO 2020



東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

DNP
大日本印刷



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

**DNPは、東京2020オリンピック・パラリンピックの
オフィシャルパートナー(印刷サービス)です。**

●株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション本部IR室

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 TEL: 03-3266-2111(大代表)

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。 ※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。